

2025 年 5 月 30 日

東急不動産ホールディングス株式会社

ステークホルダーとともに行う身近な環境貢献の取り組み

「みどりをつなぐプロジェクト」を拡大リニューアル

～お客様への商品・サービスのご提供等を起点とした森林保全や木材活用
環境教育・イベントの循環の仕組みをスタート～

東急不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：西川 弘典、以下「当社」）は、持続可能な社会の実現をめざして、事業を通じた都市と自然の調和を図ることを目的に 2011 年から推進している森林保全活動「みどりをつなぐプロジェクト」を、対象や規模を当社グループ全体の事業・取り組みに拡大し、同時に WEB サイトをリニューアルしましたので、お知らせいたします。これにより、より多くのステークホルダーへの環境取り組みの展開を図ってまいります。



みどりをつなぐ プロジェクト

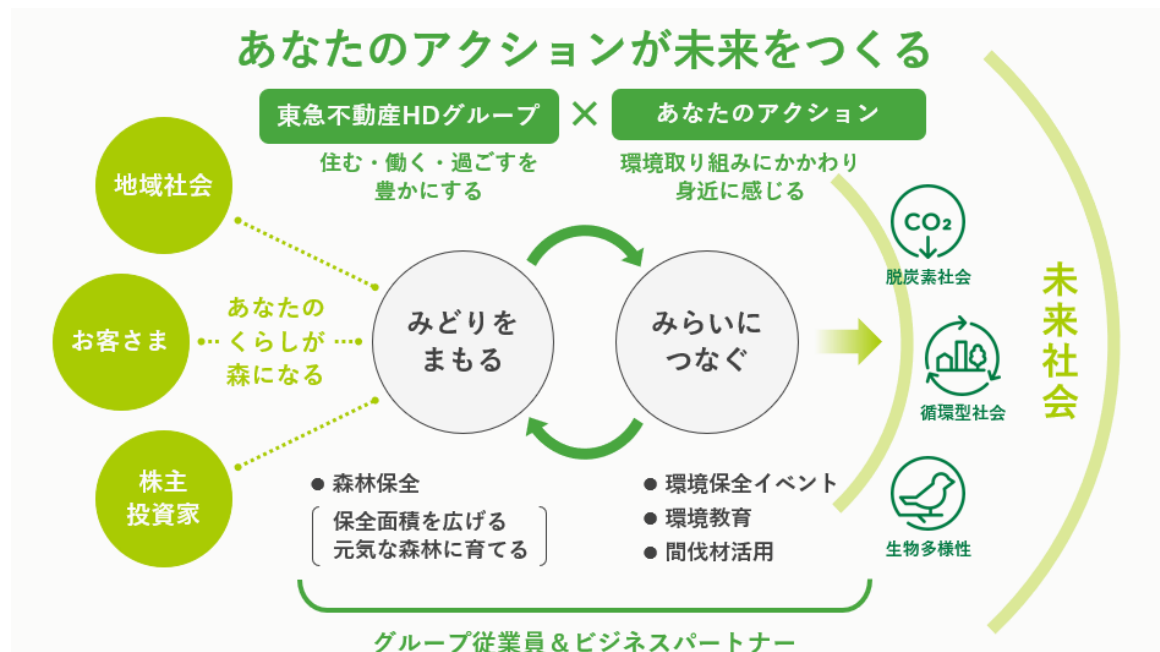
本プロジェクトは、当社グループが展開するマンションやシニア住宅、会員制ホテルやゴルフ場等のリゾート会員権等の販売、オフィス・商業施設やリゾート施設のご利用など、お客様への商品・サービス提供等を起点として森林を保全する取り組みです。各商品・サービス等に応じてこれまでに行った森林保全の総面積は約 2,300 ヘクタールにのぼり、保全した森林から産出される木材をオフィスや商業施設、リゾートホテル等様々な場面で活用してきました。

今般、対象とする商品・サービスの拡大、保全森林の拡大（特に、自社にて保全活動を行っている、リゾート事業地「東急リゾートタウン蓼科」の森林を追加）に加え、広域渋谷圏、リゾートや再生可能エネルギー事業地等における、当社ならではの環境教育・イベントの拡大を踏まえ、お客様起点の森林保全とステークホルダーの皆さまとともに行う環境貢献の取り組みをつなぎ、当社グループとお客様を含むステークホルダーとが一体となっていく環境保全の仕組みにスケールアップしました。

ステークホルダーの皆さまが身近で簡単に体感できる環境貢献の仕組みを通じて、当社グループらしい、未来社会を見据えた豊かなライフスタイルを提供していきます。

* 「みどりをつなぐプロジェクト」WEB サイト：<https://tokyu-midori.com/>

■ 「みどりをつなぐプロジェクト」とは



① 「みどりをまもる」活動：ステークホルダーとともに森林を保全

当社グループのお客さまへの商品・サービス提供、当社株式の保有、施設の来館者や地域住民の環境イベント等への参加、などを起点として、それぞれの取り組みに応じて森林保全活動（植林、間伐、枝打ち、下草刈りなど）を進めています。森林は、適切な手入れにより、CO₂の吸収、生物多様性の保全や水源涵養、災害防止などを発揮できる元気な森林に育っていきます。これまでに約 2,300 ヘクタールの森林を保全してきました。百年の森林構想を掲げ、地域全体で森林環境と資源の活用に取り組む岡山県西栗倉村への支援のほか、当社グループのリゾート事業地「東急リゾートタウン蓼科」（長野県茅野市）の森林の保全を行っています。

長期ビジョン「GROUP VISION 2030」では、森林保全の総面積 3,000 ヘクタールを目指しています。

【当社グループの主な保全森林】



岡山県西栗倉村の保全森林



BRANZ「緑をつなぐ」プロジェクト



東急リゾートタウン蓼科の保全森林

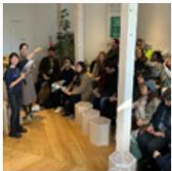
② 「みらいにつなぐ」活動：間伐材の活用、ステークホルダーに向けた環境教育・イベントの実施

当社グループでは、保全森林から産出される木材（間伐材）を、当社の商品・サービスで活用しています。例えば、中期経営計画 2030 で注力する「広域渋谷圏」に位置する商業・住居等複合施設「フォレストゲート代官山」（東京都渋谷区）内の、サステナブルなライフスタイルを提案する「TENOKA 代官山」では、自然と

建築が共生する建築デザインのカフェ・イベントスペースとして、保全森林である岡山県西栗倉村の森林から産出された間伐材を構造材等に活用しています。また、当該施設解体時には、移築および木材として再利用できるように設計するなど、建物のライフサイクルを通じて循環型社会（サーキュラーエコノミー）にも寄与する施設としており、事業者や行政などステークホルダーの皆さまと一緒にサステナブルな活動を実施・発信する拠点と位置付け、様々な環境学習やイベントを実施しています。

また、環境イベントでは、自治体等と協働して小中学生向け等に、環境保全や再生可能エネルギーについて学ぶ環境学習プログラム「ReENE ÉCOLE（リエネ エコール）」や、東急不動産の商業施設で10年以上に渡って継続している、お客さまとともに行う環境保全イベント「エコマキ」など、当社グループならではの環境教育・イベントをお客さまや様々なステークホルダーへ提供することで、より身近な環境貢献の輪を循環・拡大させていきます。

【当社グループの事業を通じた、様々な環境貢献活動の一部】

環境保全イベント		環境教育		間伐材の活用	
					
太陽光発電パネル下での農業体験 (TENOKA東松山)	東急不動産の商業施設で取り組む環境イベント「エコマキ」	地元小学生向け風力発電所の見学会 (リエネ松前風力発電所)	高校生・大学生向け施設を通じた環境勉強会 (渋谷サクラステージ)	岡山県西栗倉村の間伐材を活用した遊具 (あべのキューズモール キューズランドベビー)	タウン内の間伐材を活用した家具やアロマオイル (東急リゾートタウン夢科 TENOKA夢科)
					
自然体験エコツアー (ブローテ横浜高島台：東急住宅リース)	森のいきもの大捜査！「たてしなダーウィンスター」 (東急リゾートタウン夢科)	生き物紹介パネルの展示 (川崎国際生田緑地ゴルフ場)	国連グローバル・コンパクトの視察 (TENOKA代官山)	岡山県西栗倉村の間伐材を活用したデザイン家具 (BRANZギャラリー 表参道)	岡山県西栗倉村の間伐材を活用した壁紙や机 (渋谷ソラスタ5階会議室)

■ 全社方針「環境経営」について

当社グループでは、2021年に長期ビジョン「GROUP VISION 2030」を発表しました。多様なグリーンの中で2030年にありたい姿を実現していく私たちの姿勢を表現する「WE ARE GREEN」をスローガンに、「環境経営」「DX」を全社方針として取り組んでいます。

2025年5月には、あらたな中期経営計画2030を策定し、当社グループの全ての事業において前提となる全社方針として、引き続き「環境経営」を掲げ、環境先進を強みとした事業機会の拡大を進めるとともに、事業を通じた社会課題の解決と組み合わせ、お客さまにより付加価値を感じて頂けるよう取り組んでいくこととしました。将来に渡る資産価値の向上や、お客さまの体験価値の向上など、当社グループらしい「環境プレミアム」を創出していくことを目指しています。

本プロジェクトは、環境経営の中で取り組む3つの環境重点課題「脱炭素社会、循環型社会、生物多様性」の取り組みを体現する取り組みでもあります。

3つの環境課題を統合的に取扱う内容

- 生物多様性：森林保全、植樹・植林
- 循環型社会：間伐材・産出材等の資源利用
- 脱炭素社会：森林保全による CO2 吸収・森林クレジット創出等

■ 長期ビジョン「GROUP VISION 2030」で目指す、「環境経営」と「DX」の取り組み

当社は 2021 年に長期ビジョン「GROUP VISION 2030」を発表しました。多様なグリーンの中で 2030 年にありたい姿を実現していく私たちの姿勢を表現する「WE ARE GREEN」をスローガンに、「環境経営」「DX」を全社方針として取り組んでいます。

本年 5 月に新たに策定した、2030 年度を目標年度とする「中期経営計画 2030」では、長期経営方針後半期の強靱化フェーズと位置づけ、強固で独自性のある事業ポートフォリオを構築することで、効率性や耐久性の向上を進めながら、更なる利益成長とサステナブルな社会を実現してまいります。

東急不動産ホールディングス「GROUP VISION 2030」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/group-vision-2030/>

東急不動産ホールディングス「中期経営計画 2030」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/ir/mgtpolicy/mid-term-plan>

東急不動産ホールディングス「2025 環境経営レポート」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/ir/library/environment/>